

しゃっくり 吃逆について

ひかりが丘薬局
H22. 11月号

しゃっくりとは…

自分の意思とは関係なく、一定のパターンでくり返す横隔膜と吸気肋間筋のケイレン性収縮によって起こり、急激な空気の吸い込みに続き、声帯がいきなり閉じることで空気の流入が阻止され「ヒック」という特有の音を発する現象です。

多くは、数分～数時間で自然におさまります。

しかし、中には原因疾患があったり、疾患の有無にかかわらず、頻発したり、持続することもあります。

分類

持続時間により、3つに分けられます。

	持続時間	原因
しゃっくり発作	48時間以内	食事、アルコールの過剰摂取 炭酸飲料、タバコ、ストレス環境、胃腸 周辺の急激な温度変化
持続性 しゃっくり	48時間以上～1ヵ月以内	男性に多い 神経を刺激する内臓疾患、薬剤
難治性 しゃっくり	1ヵ月以上	脳血管疾患・感染症でおこることもある

治療

多くは一時的なもので治療の必要はありませんが、度々起こったり、持続して生活に支障が出る場合には治療を行います。

■薬物療法での確立された治療はなく、精神神経用剤や抗てんかん薬が使用されますが、医療保険上、使用可能な薬は、呉茱萸湯、クロルプロマジンのみです。

■しゃっくりは、血液中の二酸化炭素（CO₂）が下がると増加し、息こらえや咳などでCO₂が上がると減少します。

経験的に以下の非薬物療法が試みられます。

○咽頭刺激による血液中のCO₂増加目的に

- ・息をこらえる
- ・びっくりさせる
- ・氷水を飲む
- ・冷たい水でうがいをする
- ・舌をひっぱったり、綿棒でのどを刺激する

■民間療法

乾燥した柿のへた（シテイ）約10個分（5～10g）を刻み、水300mlを加え、水が半分程度になるまで、煮詰めたものを発作時に温めて服用。

シテイ湯は薬局で買うことができます—ネオカキックス細粒「コタロー」（シテイ湯）…漢方エキス剤のため、煎じる必要はありません。

わかばパパ・ママの疑問

Q. 生まれて間もない赤ちゃんが、しゃっくりをよく起こします。ミルクの飲みすぎ？

A. 赤ちゃんは、おなかの中にいる時、生まれてすぐでも、しゃっくりをします。おなかの中では鼻咽頭部の異物を除くためにしゃっくりをし、生まれてからは、その必要がなくなるため、成長とともに起こらなくなります。

